

点滴静注用ホスカビル注 24mg/mL

【この薬は？】

販売名	点滴静注用ホスカビル注 24mg/mL Foscavir Infusion Solution 24mg/mL
一般名	ホスカルネットナトリウム水和物 Foscarnet Sodium Hydrate
含有量 (1 バイアル中)	6 g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス化学療法剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、サイトメガロウイルスあるいはヒトヘルペスウイルス 6 の DNA の複製を阻害してウイルスの増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**後天性免疫不全症候群（エイズ）患者におけるサイトメガロウイルス網膜炎
造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス血症及びサイトメガロウイルス感
染症
造血幹細胞移植後のヒトヘルペスウイルス 6 脳炎**

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬により、腎障害があらわれるので、頻回に腎機能検査が行われ、使用量の調節が行われます。

○この薬により、血液中の電解質（カルシウム、マグネシウム、カリウム等）異常に伴う発作が誘発されることがあるので、定期的に血液検査が行われます。

○次の人は、この薬を使用することができません。

- ・過去にこの薬で過敏症のあった人
- ・クレアチニンクリアランス値が、0.4mL/分/kg 未満の患者
- ・ペンタミジンイセチオン酸塩（ベナンボックス）を使用中の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に障害のある人
- ・低カルシウム血症、低マグネシウム血症、低カリウム血症等の電解質異常のある人
- ・中枢神経系や心機能に異常のある人
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬〔ペンタミジンイセチオン酸塩（ベナンボックス）〕や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は点滴用注射薬です。

●使用量および回数

使用量および回数は、あなたの症状や体重などにあわせて医師が決め、医療機関で点滴されます。特に腎臓に障害がある人において、慎重に使用する量および回数が決められます。

また、腎臓の機能が悪くならないように、本剤を使用している間は十分な水分補給が行われます。

通常の使用量および回数は、次のとおりです。

〔後天性免疫不全症候群（エイズ）患者におけるサイトメガロウイルス網膜炎及び造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス感染症の場合〕

	初期療法		維持療法
1 回量	体重 1kg あたり 60mg	体重 1kg あたり 90mg	体重 1kg あたり 90～120mg
注射する回数	1 時間以上かけて 8 時間ごとに 1 日 3 回	2 時間以上かけて 12 時間ごとに 1 日 2 回	2 時間以上かけて 1 日 1 回

初期療法は 2～3 週間以上行われます。維持療法中に再発が認められた場合は、初期療法の使用量及び回数で再び投与されることがあります。

〔造血幹細胞移植患者におけるサイトメガロウイルス血症の場合〕

	初期療法	維持療法
1 回量	体重 1kg あたり 60mg	体重 1kg あたり 90～120mg
注射する回数	1 時間以上かけて 12 時間ごとに 1 日 2 回	2 時間以上かけて 1 日 1 回

初期療法は 1～2 週間以上行われます。維持療法中に再発が認められた場合は、初期療法の使用量及び回数で再び投与されることがあります。

〔造血幹細胞移植後のヒトヘルペスウイルス 6 脳炎の場合〕

1 回量	体重 1kg あたり 60mg
注射する回数	1 時間以上かけて 8 時間ごとに 1 日 3 回

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を後天性免疫不全症候群（エイズ）患者におけるサイトメガロウイルス網膜炎に使用する場合、患者さん又はそれに代わる適切な人が、次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。

- ・ この薬は、後天性免疫不全症候群（エイズ）患者におけるサイトメガロウイルス網膜炎を治すものではありません。本剤を使用していても、症状が進行および再発する可能性があるため、定期的に眼科的検査を受ける必要があります。
- ・ 腎障害、電解質異常に伴う発作があらわれることがあるため、口周囲のヒリヒリ感、四肢のしびれ、知覚異常等の症状があらわれた場合には、直ちに医師に報告すること。
- ・ 血液中のカルシウム、マグネシウム、カリウムが減少することがあるため、本剤を使用している間は定期的に血液検査が行われます。
- ・ 泌尿・生殖器に刺激感および潰瘍があらわれることがあるため、排尿後はよく洗うかふき取って清潔な状態を維持してください。
- ・ 妊娠中または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- ・授乳中の人は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用する可能性があることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
心停止 しんていし	気を失う
血栓性静脈炎 けっせんせいじょうみやくえん	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ
痙れん発作 けいれんほっさ	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
テタニー	手足のふるえ、筋肉の脱力感、筋力の低下、しびれ
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る
失語症 しつごしょう	言葉が理解ができない、言葉での表現ができない
痴呆 ちほう	記憶力の低下、計算ができなくなる、時間や場所がわからなくなる
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
敗血症 はいけつしょう	発熱、寒気、脈が速くなる、体がだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、体重の増加、脱力感、発熱、冷汗が出る、疲れやすい、むくみ、寒気、体がかゆくなる、しびれ、顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	めまい、意識の低下、意識の消失、気を失う、一時的にボーっとする、言葉が理解できない、記憶力の低下、計算ができなくなる、時間や場所がわからなくなる
顔面	顔面蒼白
口や喉	吐き気、嘔吐、唇が青紫色になる、言葉での表現ができない
胸部	息苦しい、息切れ、呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
腹部	お腹が張る
手・足	手足のしびれ、手足のふるえ、手足が冷たくなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のはれ、下肢のむくみ、手足のこわばり、手足の筋肉が硬直しガタガタと震える、脈が速くなる
皮膚	皮膚が青紫～暗紫色になる、
筋肉	筋力の低下、筋肉の痛み、筋肉の脱力感
便	便やおならが出にくい
尿	尿量が減る、尿が赤褐色になる

【この薬の形は？】

性状	無色澄明の水溶液
形状	 250mL 入りバイアル

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ホスカルネットナトリウム水和物
添加物	pH 調整剤（適量）

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

クリニジェン株式会社

カスタマーセンター 電話 0120-192-109

受付時間：9時から17時30分（土、日、祝日及び当社休業日を除く）